

ななお

会議所だより

Nanao Chamber Of Commerce And Industry



<https://www.nanao-cci.or.jp>
mail:office@nanao-cci.or.jp



能登鹿北商工会
会長
杉木 勉氏

七尾商工会議所
会頭
杉野 哲也氏

のと共栄信用金庫
理事長
鈴木 正俊氏

内閣府特命担当大臣
参議院議員
岡田 直樹氏

七尾市長
茶谷 義隆氏

東京海上白動火災保険
七尾支社長
榎 岳彦氏

日本政策金融公庫
国民生活事業統轄
須崎 智氏

内閣府の地方創生SDGs金融表彰受賞式

CONTENTS

- 内閣府の地方創生SDGs金融表彰受賞 2
- 第22回日本・タイお互いフォーラム in Nanao 3
- N-As通信・
「消費税インボイス制度対策セミナー」開催/
「小規模事業者持続化補助金セミナー」開催 4
- セミナーのご案内/施策説明会&セミナー案内 5
- 商業部会/建設業部会 6
- 青年部だより/女性会だより 7
- 景況・業況動向調査結果報告 8
- 情報Catch Up 9
- 事業所の皆様へ/和倉温泉北國春花火大会/
通常議員総会及び講演会のご案内 10
- トレンド通信/行事カレンダー 11
- 日本銀行金沢支店長講演会のご案内 12

内閣府の地方創生SDGs金融表彰受賞 ～産・学・官・金・民連携の取り組みを評価～

2月13日（月）、当商工会議所は、地域におけるSDGs普及促進の枠組みとして、七尾市、のと共栄信用金庫など9団体で組織する「ななおSDGsスイッチ」の一員としての取り組みが評価され、内閣府の「第2回地方創生SDGs金融表彰」に選ばれました。

4月に開催が予定されている大阪・関西万博についてのご紹介を岡田大臣から伺うなど、活発な意見交換が行われました。



授与を受けられる茶谷市長

本表彰は、地方公共団体と地域金融機関等との連携による地方創生の取り組みを加速させることを目的として、SDGsの考え方を生かした実効性の高いプロジェクトを内閣府が選定・表彰するものです。

総評では、経済面での取組としてのSDGsに取り組む地元企業への経営支援や融資制度、同組織が主催したSDGsを推進する市民大学講座、地域の未来ビジョンづくり事業などの創意的な取組みから、市内におけるSDGsに対する機運が高まったと評価されました。

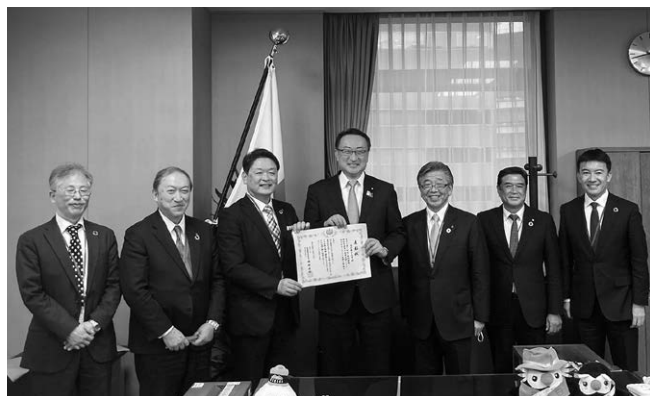
また、授与式後には岡田内閣府特命担当大臣へ受賞報告を兼ねた表敬訪問をさせていただき、七尾市における包括的なSDGsの推進をはじめ、アジア各国のテレビドラマの発展や制作者同士のネットワークづくりを目指した国際会議の七尾開催についてや、2025年



取組みをご紹介する杉野会頭

なお、七尾市では地方創生SDGsの達成に向け、優れたSDGsの取組を提案する地方自治体を「SDGs未来都市」として内閣府が選定を行う「SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業」への申請を予定しています。

また1月19日（木）～22日（日）の日程で開催された公益社団法人日本青年会議所「2023年度京都会議」では、一般社団法人七尾青年会議所が同枠組み内で取組んだ「みんなで地域の未来ビジョンを作ろう！『NANAO GIFT 2040』」事業が、「AWARDS JAPAN 2022」という様々な部門のプロジェクトの最優秀賞を決める授賞式において、中期ビジョン策定プロジェクト部門での「最優秀賞」、そして全表彰の日本一としての「グランプリ」を受賞し、「第2回地方創生SDGs金融表彰」とのダブル受賞という快挙を成し遂げることができました。



記念撮影の様子



AWARDS JAPAN 2022 グランプリ受賞

● 第22回日本・タイお互いフォーラム in Nanao

2月2日（木）～3日（金）、『第22回日本・タイお互いフォーラム』が開催されました。初日は、タイ王国工業省の方々を招聘して、七尾市とタイ王国工業省の産業連携MOU（覚書）が締結された後、①能登半島の商材をタイ・ASEANに向け展開、②炭素繊維複合材のタイとの連携によるバリューチェーンの構築及び石川繊維産業の復権、③タイ王国主要政策BCG（Bio-Circular-Green/バイオ・循環・グリーン）技術活用を目的としたディスカッションが行われました。

2日目は、タイ王国よりASEAN旅行業協会相談役であるミンクワン氏を招聘し、コロナ後の訪日インバウンド再開に向けたタイ・ASEANからの誘客促進を目的に特別記念講演会として開催され、①日本の食のグローバル化～食の海外展開とインバウンドの融合～、②ASEAN・タイにおける訪日観光の潜在的ニーズ、③国内市場におけるアフターコロナのインバウンド戦略、④北陸・能登エリアとタイ王国の観光交流促進について観光事業者を主とした方々が理解を深めました。

また、食の海外展開によって観光産業を盛り上げる手法についてディスカッションを行いました。

今後は、コロナ禍からの回復を目指す両国において、食品加工分野においては、単に能登の商材等をタイに持ち込む方法を採用せず、持続可能な商品開発を目指し、日本とタイの双方の企業が連携して、相互に市場での新たな商品・サービスの開発を目指していきました。具体的には、能登半島の商材やサービスを持ち込み、これらをタイの連携企業と共同でタイの市場に適合的な商品・サービスを開発することを目指し、共創型販路開拓を進めます。日本ブームを一過性に終わらせず、新商品やサービスの開拓を図ると共に、タイ企業にとってもメリットが生じるよう、相互双方の連携が実体的に進むことが期待されます。

また、観光分野においては、ASEANとのつながりが生まれ、ファムトリップの相談なども当日受けることになったことにより、七尾市は勿論のこと昇龍道活用など広域観光シーンでの観光プログラム造成について推進していきます。



会場の様子



記念撮影の様子



N-As(エヌアス) 通信

ななお経営支援センター(N-As)
ななお創業応援カルテット
石川県よろず支援拠点能登サテライト

七尾(N)の明日(As)の経営／経営のなやみ、なんでも、お手伝い

「消費税インボイス制度対策セミナー」開催

1月27日(月)、七尾商工会議所 ななお経営支援センターは、所司久雄税理士事務所副所長 所司安輝朗氏を講師にお招きし、2023年10月より開始する「消費税インボイス制度対策セミナー【第3弾】」を開催しました。今回は、「課税事業者向け」と「免税事業者向け」に特化し、併せて18名にご参加いただきました。

課税事業者向けのセミナーでは、インボイス制度導入に向けた準備・対応、インボイス記載事項、インボイス発行事業者の義務等を説明されました。受講者からは、今後の請求書・領収書等を発行するにあたっての注意点や今後の準備にあたっての気になる点などの質問が相次ぎました。

免税事業者向けのセミナーでは、本則課税・簡易課税の違いや、免税事業者から課税事業者になる際の経過措置などを説明され、インボイス登録については、

自分で判断しなければならぬことを説明されました。引き続き、七尾商工会議所・ななお経営支援センターでは、インボイス制度周知のためのセミナーを今後も予定しています。次回は、免税者向けセミナーを3月24日(金)に開催します。開催内容は、P5に掲載しております。



「小規模事業者持続化補助金セミナー」開催

2月27日(月)、七尾商工会議所・ななお経営支援センターは、石川県よろず支援拠点の中嶋克也コーディネータを講師に招いて、「小規模事業者持続化補助金セミナー」を開催しました。

小規模事業者の販路開拓や生産性向上の取組を支援するものです。

第12回締切分は現在公募受付準備中の段階ですが、申請に際し、計画書等の作成に時間を要することから、過去の第11回締切分の公募要領をもとに、申請方法等をご案内しました。

主要内容は以下のとおりです。

第12回締切分は以下のURLで公募されますので、新規取組みへの投資をお考えの皆様はご検索いただき、申請ご検討いただけますと幸いです。

URL : <https://r3.jizokukahojokin.info/>

<第11回締切分から>

○補助率・補助上限額と申請類型

類型	通常枠	賃金引上げ枠	卒業枠	後継者支援枠	創業枠	インボイス枠
補助率	2/3	2/3 (赤字事業者については3/4)			2/3	
補助上限	50万円		200万円			100万円

※第12回締切分は以下が予想されます。

「通常枠、賃金引上げ枠、卒業枠、後継者支援枠、創業枠について免税事業者からインボイス発行事業に転換する事業者(インボイス転換事業者)を対象に一律に50万円の補助上限を上乗せ」





○対象経費

補助対象経費科目	活用事例
①機械装置等費	補助事業の遂行に必要な製造装置の購入等
②広報費	新サービスを紹介するチラシ作成・配布、看板の設置等
③ウェブサイト関連費	ウェブサイトやECサイト等の構築、更新、改修、開発、運用に係る経費
④展示会等出展費	展示会・商談会の出展料等
⑤旅費	販路開拓(展示会等の会場との往復を含む)等を行うための旅費
⑥開発費	新商品の試作品開発等に伴う経費
⑦資料購入費	補助事業に関連する資料・図書等
⑧雑役務費	補助事業のために臨時的に雇用したアルバイト・派遣社員費用
⑨借料	機器・設備のリース・レンタル料(所有権移転を伴わないもの)
⑩設備処分費	新サービスを行うためのスペース確保を目的とした設備処分等
⑪委託・外注費	店舗改装など自社では実施困難な業務を第3者に依頼(契約必須)

※ウェブサイト関連費は補助金総額の1/4が上限



セミナーのご案内（受講無料）

セミナー名・日時		申込方法(QR)
<p>◎小規模事業者持続化補助金セミナー</p> <p>日 時：令和5年3月16日（木） 14：00～15：30 場 所：七尾商工会議所 2F 研修室（七尾市三島町70-1） 定 員：5名限定（先着順とさせていただきます。）</p>	 中嶋 克也 氏 <small>石川県よろず支援拠点 コーディネーター</small>	
<p>◎消費税インボイス制度（免税事業者向け）対策セミナー</p> <p>日 時：令和5年3月24日（金） 14：00～15：30 場 所：七尾商工会議所 2F 研修室</p>	 <small>しよじ あきお</small> 所司 安輝朗 氏 <small>所司久雄税理士事務所 副所長／税理士</small>	
<p>◎初心者のためのスマホで写真セミナー</p> <p>日 時：令和5年3月28日（火） 14：00～16：00 場 所：七尾商工会議所 3F 会議室（七尾市三島町70-1） 定 員：5名限定（先着順とさせていただきます。）</p> <p><small>※同封のチラシをご覧ください。</small></p>	 守部 和孝 氏 <small>(公財)石川県産業創出支援機構 石川県よろず支援拠点 コーディネーター</small>	

令和5年度

参加無料

施策説明会 & セミナー

令和5年度の事業者支援施策等に関する国（経済産業省）・石川県からの情報提供及び、事業者向け経営セミナーを開催いたします。

2023年3月23日(木) 13:00-15:00

石川県地場産業振興センター新館 コンベンションホール【定員：100名】
オンライン配信（Zoomウェビナー）【定員：500名】

①13:00-14:00

『令和5年度の国・県の施策説明』

- ・経済産業省中小企業庁経営支援課
- ・石川県商工労働部経営支援課

②14:00-15:00 経営セミナー

『仕入高・燃料高に負けない 中小企業・小規模事業者経営』

古川忠彦氏（アルバーコンサルティング株式会社代表取締役）

お申し込み方法 ※3月17日(金)締切

下記のURLまたは右記のQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/cneVyeMbbM3bPGrh7>

■主催・運営：石川県商工労働部経営支援課経営支援グループ



商業部会

**若者の消費トレンドの根本が大きく変化
“コト消費”の商業環境づくりへ！**

～ 役員会〔第7回〕新年度の部会事業計画（案）の骨子を定める ～

2月17日（金）、商業部会（久保晋部会長）は当所にて、新年度（令和5年度）の部会事業計画（案）の骨子を定めるため、役員会〔第7回〕を開きました。

冒頭、久保部会長は、「近づく4月からの令和5年度が新たな第2期3箇年の始まりとなります。この3箇年を踏まえた1年目となる部会事業計画（案）の骨子を決めたい」と挨拶しました。

最初に「方針」では、前回役員会の検討も踏まえて、特に若い世代の消費行動の変化と部会の使命・目的がわかる内容に修正するとしました。案として、「消費行動がモノ消費からコト消費へと根本が変化する中、新たな商業スタイルの重要性を踏まえ、地域関係者との連携をもとにした店強化と地域活性化、生活者からも選ばれる商業環境づくりへの貢献に努める」となりました。

次に、「基本計画」については、活動内容を大きなグループに括り直して見ることになりました。例えば、会議、調査・研究・アンケート、セミナー・研修会・講演会等、視察研修・見学会、意見・提言・要望活動、関係団体との連携、部会員等交流・情報交換活動などに絞り込み、既存の個別基本計画を該当するグ

ループに振り分ける時に、改めて個々のグループ化と個別基本計画を見直すことにしました。（案）としては、事務局と久保部会長に一任することになりました。なお、活動スケジュールについては、次回役員会で改めて協議することになりました。

最後に、久保部会長は「会議所の予算総会が3月下旬にあると思うが、それまでに次回役員会を開いて、皆で最終確認したい」として、出席者の承認をえて閉会しました。



新年度の部会事業計画の骨子を協議する部会役員

建設業部会

自らが事業機会の創出と確保に積極的に活動する

～ 2月定例会 新年度の部会事業計画（案）の骨子を定める ～

2月9日（木）、当所の建設業部会（姥浦昭二部会長）は、2月定例会を開催して、新年度（令和5年度）の部会事業計画（案）の骨子等を決めました。

冒頭、姥浦部会長は、「令和5年度は、部会第2期で新3箇年の重要な1年目である。今年度までの活動を活かし、継続事業として更に深く掘り下げなければならない」と挨拶しました。

最初に「方針」について、現時点では変更はしないとしながらも、「部会の使命・将来像、目的が分かりやすいように修正することもある」となりました。当日の修正意見を纏めると「社会、経済が大きな転換を起こして厳しさが増す事業環境の中、市内建設事業者の健全な事業経営の持続化に向けて、自らが事業機会の創出と確保に活動すると共に、業界・地域経済の発展への貢献に努める」ということになりました。

次に、「基本計画」について、前回役員会の協議も踏まえて姥浦部会長は私案として右記のとおり提案しました。

- ①七尾市への交流人口増大の起爆剤の一つとして、「観覧車のある遊園地」構想を提唱し、その実現に向けた検討、情報収集等を他部会とも連携して推進する。
- ②市内公共遊休施設の有効利活用に関する勉強会及び提言
- ③七尾市企画振興部との意見交換会の開催
- ④七尾市発注工事の市内業者受注機会創出に対する要望活動

出席者からは、部会（案）の策定に向けて事務局と姥浦部会長に一任され、定例会の開催の有無は未定ですが、3月下旬の予算総会に間に合うようにすることとなりました。

最後に、姥浦部会長は「正副会頭との意思疎通のために担当副会頭を決めてほしい。各部会相互に情報が行き交い、部会間等の連携や協力が可能となる」という認識を出席者と共有して閉会しました。



日本商工会議所青年部 第42回全国大会「美の国あきた大会」

2月15日(水)～19日(日)、秋田県立武道館を主会場に、「日本商工会議所青年部第42回全国大会 美の国あきた大会」が盛大に開催されました。3年ぶりの現地開催となった本大会は、全国各地のYEG会員及びOB・OG先輩をはじめとする410単会6,682名の登録がありました。石川県連としましては、来年度開催の「日本商工会議所青年部第43回加賀能登の國石川こまつ大会」のPRキャラバンを行うため、200名を超えるメンバーが現地参加をしました。七尾YEGからは尾古隆史会長をはじめ総勢32名(現役メンバー27名、OBメンバー3名、事務局2名)が現地登録し、大交流会や、記念式典、記念講演等に参加し

て、多くの全国のYEG仲間とともに交流を深める機会となり、来年度に開催される加賀能登の國石川こまつ大会に向けても、多くの学びを得ることができました。また、18日(土)の大交流会の後には石川県連ナイトが開催され、地元の料理に舌鼓を打ち参加者全員と懇親を深めることができ、参加した今年度卒業生にとってもいい思い出となりました。

尾古会長は、「会員・OBさん・事務局を合わせ、総勢30名近い人数で秋田大会に臨めたことに感謝している。来年は石川県の素晴らしさを全国約42,000名のYEGメンバーに伝えたい」と話しました。



チャーター便で秋田へ



現地参加した七尾YEG



県連ナイトにて



来年度全国大会PRの様子



令和5年七尾商工会議所女性会 新春会員懇談会特別講演会 「Diversityでつくる地域社会」 社会医療法人財団董仙会 理事長 神野 正博 氏

2月13日(月)、和倉温泉「日本の宿「のと楽」」にて、当女性会の新春会員懇談会が行われ、48名が参加しました。特別講演会では、「Diversityでつくる地域社会」と題して、当所副会頭でもある社会医療法人財団董仙会 理事長 神野 正博 氏にご講演をいただきました。

七尾の生産年齢人口は2004年をピークに急速に減少しており、2025年以降は「どの時代でも、世界でも、誰も、経験したことがないようなことをやらないといけない」と危機感を強調しました。「人口減少する現実が変わらず、現状維持はできない。過去のことはこだわってはいけない。一人一人の生産性を伸ばすためには、タスクシェアリングなどで仕組みを変えていくことや、シニア世代にも元気に働いてもらうために、健康経営が必要になってくる。そして、働き手の健康寿命を延ばすことも大切になってくる」と述べられました。七尾・日本のこれから来る人口構造の変化への解決策は、仕組みを変え(DX)、生産性をあげ、ロボットを積極的に活用し、年齢・性別・国籍を問わないDiversity全員参加の社会が必要であると提言さ

れました。講演会終了後には懇親会が開催され、来賓には、茶谷義隆七尾市長 代理 松崎健七尾市産業部産業振興課長、講師も務めていただいた神野正博副会頭、楠事務局長、尾古青年部会長、清水次期青年部会長をお招きし、会員相互の交流を深めました。



講演の様子



女性会集合写真

七尾商工会議所「景況・業況動向調査結果報告」(令和4年10~12月)

~コスト増への不安から、厳しい先行きを予想する見方が多い~

当所では、管内の景気動向を把握するため、役員・議員・評議員・会員の皆様にアンケート調査を実施しました。令和4年10月~12月(第3四半期)の調査結果は以下の通りです。

DI	景況感	売上高	売上単価	仕入原価	資金繰り	採算性
全産業 (今期)	27.8	27.8	56.7	▲51.1	41.1	1.1
(来期見込み)	0.0	11.1	46.7	▲43.3	25.6	▲6.7
製造業 (今期)	30.0	35.0	65.0	▲70.0	5.0	▲15.0
(来期見込み)	▲15.0	5.0	60.0	▲85.0	5.0	▲30.0
建設業 (今期)	50.0	5.6	55.6	▲83.3	33.3	▲33.3
(来期見込み)	11.1	▲5.6	27.8	▲66.7	33.3	0.0
小売業 (今期)	▲16.7	16.7	41.7	▲16.7	58.3	▲8.3
(来期見込み)	▲16.7	25.0	16.7	41.7	33.3	▲8.3
卸売業 (今期)	40.0	10.0	50.0	▲60.0	60.0	50.0
(来期見込み)	40.0	50.0	50.0	▲60.0	60.0	50.0
サービス業 (今期)	26.7	46.7	60.0	▲30.0	56.7	20.0
(来期見込み)	▲3.3	6.7	60.0	▲30.0	20.0	▲13.3



とにかく好調 50 ≤ DI
好 調 5 < DI < 50
まあまあ -5 ≤ DI ≤ 5
不 振 き わめて不振 -50 < DI < -5
DI ≤ -50

DI (ディフュージョン・インデックスとは『増加・上昇・好転』の割合(%)から『減少・低下・悪化』の割合(%)を差し引いた指数です。

1. 全体の景況感について

本調査期間中(10~12月)の景況感は、「不変」と回答した割合が56%と最も多く、「好転」と「悪化」がそれぞれ22%となりました。一方、来期(1~3月)見通しについては、「悪化」と回答した割合が40%に達した結果、DI値が0へと下降しました。原材料や燃料費高騰の影響が継続する中、先行きに厳しい見方をする事業者が多いようです。項目別では、「仕入原価」の景況感の悪化が顕著で、本調査期間中に「上昇」と回答した割合が69%、来期見通しでは64%となっています。

自由回答では、「仕入原価が全てアップし、売上単価に転嫁できない」、「コロナ禍での売上減少はほとんどなかったが、物価高による売上減少があり影響は大きい」、「給与のベースアップをしたいがこの状況では慎重になる」などの意見がありました。

2. 直面している経営上の問題点について

最も多かった回答は、前回同様、「仕入単価の上昇」や「経費の増加」といった「コスト増」に関するものでした。「コスト増加分を販売価格へ転嫁したか」との問いには、「転嫁できていない」が37%、「転嫁したがコスト増を吸収できていない」が53%と回答しており、コスト増に見合う販売価格の転嫁が進んでいない現状が浮き彫りとなりました。

コスト増への対策として、「作業工程の見直しによる電力消費の削減」「こまめな省エネ活動」といった地道な経営努力を継続しているものの、急激なコスト増をカバーするには至っていないようです。中には、「給与を削減せざるを得ない」と回答した事業者もいました。

3. 人材確保・定着について

新型コロナウイルスの影響が徐々に落ち着きをみせる中、人材を再度確保する動きがみられます。「従業員の募集に関する取り組み」を調査したところ、「ハローワークへの申し込み」が37%と最も多い結果となりました。一方で、「年間通じて申し込んでいるが紹介が少ない」といった意見があり、必要な人材を確保するのに苦労している様子が見てとれます。その他、「口コミでの紹介」や「インターンシップでの募集」をしている事業者もありました。

次に、人材定着への取り組みとしては、「給与・福利厚生・労働条件の見直し」が29%と最も多く、待遇改善に前向きな姿勢がみてとれます。その他、「社内コミュニケーションの活性化」が25%、「従業員との個別面談」が18%と、対話による意思疎通で価値観を共有しようとする試みも多くみられます。

実施期間：令和5年1月16日~1月31日
対象期間：令和5年10~12月期
有効回答数：46件(オンライン30件、書面16件)
回答形式：選択回答(複数回答可)および自由回答

次回の令和5年1月~3月(第3四半期)の調査は、4月の会報紙面で告知する予定です。皆様、ご協力の程、よろしくお願い致します。

七尾商工会議所 情報CatchUp

◀七尾商工会議所(経営発達支援計画)からの情報提供▶

当所の同計画による経営発達支援事業では、国、県等の金融経済に関する公表資料の活用として、石川県及び北陸3県を中心とした地域外への事業展開及び販路開拓を踏まえた事業計画の策定並びに実施支援を行ううえで必要となる経済状況や景気・金融動向等の調査・分析・提供を行っております。

今回は、日本銀行金沢支店が金融経済の動向について、年4回(四半期・春夏秋冬)取りまとめ公表している「石川県金融経済クォーターリー」を転載して提供するものです。

石川県金融経済クォーターリー

(2023年 冬)

2023年2月13日
日本銀行金沢支店

【概況】

石川県の景気は、持ち直している。
最終需要をみると、個人消費は、持ち直している。住宅投資は、減少している。設備投資は、増加している。公共投資は、弱めの動きとなっている。
当地製造業の生産は、持ち直しの動きが一服している。業種別にみると、電気機械は、スマートフォン向けを中心に減少している。化学は、横ばい圏内の動きとなっている。一方、汎用・生産用・業務用機械は、増加している。繊維は、持ち直している。
雇用・所得環境は、緩やかに持ち直している。
消費者物価(除く生鮮食品)は、上昇している。
企業倒産は、件数は前年並みとなり、負債総額は前年を下回った。
金融面をみると、預金は、個人、公金の増加から前年を上回っている。貸出は、前年を上回っている。

【全体判断】 (矢印は前回との変化、以下同じ)

2022年夏以来の判断引き上げ ＜直近の判断変更は2022年夏＞	変化
持ち直している	↑

【金融】

	関連統計等の動き
預 金	石川県の預金(国内銀行ベース)は、個人、公金の増加から前年を上回っている。
貸 出	石川県の貸出金(国内銀行ベース)は、前年を上回っている。

【实体经济・物価】

	今回の判断	変化	関連統計等の動き
個人消費	持ち直している	↑	百貨店・スーパー等の売上高は、引き続き持ち直しの動きがみられている。家電販売は、横ばいの動きとなっている。乗用車販売および旅行取扱、ホテル・旅館の宿泊者数は、持ち直している。
住宅投資	減少している	↓	新設住宅着工戸数は、減少している。
設備投資	増加している	→	引き続き能力増強・省力化投資のほか、脱炭素・環境対応投資を含む新規の投資に踏み切る動きもみられていることから、全体として増加している。
公共投資	弱めの動きとなっている	→	公共工事は、出来高、請負金額ともに弱めの動きとなっているが、高水準を維持している。
生 産	持ち直しの動きが一服している	→	電気機械は、スマートフォン向けを中心に減少している。化学は、横ばい圏内の動きとなっている。一方、汎用・生産用・業務用機械は、増加している。繊維は、持ち直している。
雇用・所得	緩やかに持ち直している	→	有効求人倍率は、高水準で推移している。雇用者所得は、緩やかに持ち直している。
物 価	上昇している	→	消費者物価(金沢市、除く生鮮食品)は、上昇している。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

日本銀行金沢支店 営業課 広報担当 (電話 076-223-9520) ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/kanazawa/>



経営のなやみなんでもお手伝い

七尾商工会議所 (N-As) ななお経営支援センター

相談日時 月～金曜 9:00～17:00
TEL / 0767-54-8888
■メール / office@nanao-cci.or.jp
■〒926-8642 石川県七尾市三島町70-1

～事業所の皆様へ～

人への投資促進コースがさらに
利用しやすくなりました!!

「サブスク・定額制訓練」と

「人材開発支援助成金」を活用して社員研修をより充実させませんか?

対象の研修には、労働者の多様な訓練の選択や実施を可能とする

「定額受け放題研修サービス(サブスクリプション)(※)」も対象となっています。

※1訓練当たりの対象経費が明確でなく、同額で複数の訓練を受けられる e-ラーニング及び同時双方向型の通信訓練です。

◆「定額制訓練」を受講し、人材開発支援助成金を活用した事業所の声◆

「新入社員」対象に「ビジネス知識・PCスキル」講座を利用しています。
社内講師を選定・準備する手間も省け、また社外講師からの講義は、新しい気概を社内に注いでくれました。
(機械部品製造会社)

「営業職」全員に「営業力向上」講座を利用しました。すき間時間に受講でき、また、オンラインでの他社交流
研修で刺激を受けられました。(不動産会社)

「管理職」に「マネジメント」・「経営」講座を受講してもらった。
勤務地が離れていても、オンラインで集合場所・時間を気にせず受講でき、また、定額制なので、コスト管理面
も楽になった。(食品製造会社)

経費助成率：中小企業60% (+15%) 大企業45% (+15%)

() 内は生産性の向上が認められた場合に加算

助成額(限度額)：人への投資促進コースとして、1年度あたり2,500万円が上限です。

支給要件の詳細や具体的な手続きについては、

石川労働局職業安定部職業対策課(Tel.076-265-4428)までお問い合わせください。



人材開発支援助成金

検索

第34回和倉温泉北國春花火大会

和倉温泉に泊まって、新年度最初のイベント「春花火」を
楽しみましょう!

日時：4月15日(土)
20:30~20:50
(荒天時は16日(日)に順延)

※周辺交通規制にご協力をお願い
します
※詳細は和倉温泉のWEBページ
をご確認ください。
※状況により変更する場合があ
ります。



「©北國新聞社」

【問い合わせ】
和倉温泉旅館協同組合
TEL 62-1555

第147回通常議員総会 及び講演会のご案内

当所の第147回の通常議員総会が下記の日
程で開催します。

今回の通常総会は令和5年度の事業計画・
収支予算について審議をします。

また、講演会には日本銀行金沢支店 支店長
吉濱久悦氏をお迎えしますので、併せてご案
内申し上げます。

と き：令和5年 3月28日(火)

ところ：七尾商工会議所 2Fホール

日 程：総 会/15:00~

講演会/16:30~

テーマ：最近の金融経済情勢について

講 師：日本銀行金沢支店

支店長 吉濱 久悦 氏

「『信長の水』を体験して思ったこと」

安土桃山時代の名前の由来となった安土城は、織田信長が最後に建てた城で、滋賀県近江八幡市安土町にある城址に名残をとどめています。そのお膝元に当たる場所に、織田信長が茶の湯のためにくませた湧き水「梅の川」がありました。現在は地下水の水位が少し下がったために「梅の川」の水は枯れていますが、すぐ近くに今もこんこんと水が湧いている場所が何箇所もあります。

そんな湧き水スポットの真上に建てられた料亭で、食事をする機会がありました。地元で採れる川魚や野菜、果物などをランチのコース料理でいただいたのですが、最初に日本酒を飲むぐい飲みサイズのグラスで、厨房に湧いている水がそのまま何の味付けもせずに出されました。

水の味の微妙な違いを私ができるわけではありませんが、信長もこの水のおいしさを理解してわざわざ求めていたのかと思うと、何か貴重なものをいただくような儼かな気持ちになりました。たった一口の水ですが、私にとっては強く記憶に残る体験となりました。

料亭でいただいたコース料理は、どれもきれいな器に盛りつけられていて、それぞれの素材の味を生かしながら見た目も美しく、日本料理の技を駆使した良い仕事を感じさせるものでした。素材自体は高級な肉や遠くから取り寄せた海鮮などが使われているわけではなく、あくまでも地元でその時期に採れた旬のものばかりでした。一つひとつの料理を提供するときに、まだ若い料理長からその食材や地域

の食文化について、詳しい説明があり、地域の自然や季節に対する感謝の気持ちを主客で共にすることができました。

地域の資源を活用してヒット商品をつくるためにはストーリーが重要だと、よく言われます。私自身もこのコラムをはじめさまざまなところで、何度もそのように取り上げています。「信長の水」体験を通じて感じたことは、ストーリーが体験としてお客さんに届き、深く心に刻まれるためには、もう少し必要な条件があるのではないかとということです。

ストーリーは、演劇でいうと脚本のようなもので、それが観客に届くためには、形にして見せる役者や舞台が必要だというような感覚です。今回の私の体験に置き換えてみれば、ストーリーは「信長が追い求めた水の味」であり、それを形にしたのが「一杯の水」や「その水で育った地域の野菜や川魚」で、さらには一つひとつの料理について語ってくれる料理長さんも役者の役割を果たしてくれたといえそうです。舞台装置に相当するのは、それらをいただいた料亭の快適な空間や、美しい器でしょうか。

おそらく、信長の水に相当するようなストーリーを持つものは、全国各地に多数あるでしょう。しかし、ただあるだけでは宝の持ち腐れです。もし良いストーリーがあるのにうまく生かしていないと感じるのであれば、もう一度、それを形にする役者と、役者と顧客をつなぐ舞台が機能しているかどうか、チェックしてみたいかがでしょう。

日経BP総合研究所 上席研究員 渡辺 和博



【プロフィール】◇渡辺 和博／わたなべ・かずひろ

日経BP総合研究所 上席研究員。1986年筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年日本経済新聞社入社。IT分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌編集部を経て現職。全国の自治体・商工会議所などで地域活性化や名産品開発のコンサルティング、講演を実施。消費者起点をテーマにヒット商品育成を支援している。著書に『地方発ヒットを生む 逆算発想のものづくり』（日経BP社）。

2023 行事カレンダー

3月 March

- 16(木) 小規模事業持続化補助金セミナー
日本商工会議所第136回通常会員総会
- 17(金)
- 18(土)
- 19(日)
- 20(月) 能登ふるさと博開催実行委員会総会
- 21(火)
- 22(水) 七尾創業カルテット連絡会議
七尾の未来構想委員会
- 23(木) リーダーの役割～なぜ、人は指示通りに動いてくれないか～ 能登地区講座
- 24(金) インボイス制度対策セミナー
- 25(土)
- 26(日)
- 27(月)
- 28(火) 七尾商工会議所第147回通常議員総会
日本銀行金沢支店長 吉濱久悦氏の講演会
初心者のためのスマホで写真セミナー
- 29(水)
- 30(木)
- 31(金) 石川県議会選挙告示

4月 April

- 1(土)
- 2(日)
- 3(月)
- 4(火) 小丸山城址公園下植樹帯清掃
- 5(水)
- 6(木)
- 7(金)
- 8(土)
- 9(日) 石川県議会議員選挙
- 10(月)
- 11(火)
- 12(水)
- 13(木) 正副会頭会議
- 14(金)
- 15(土) 七尾未来アワード公開審査



日銀から見た金融経済情勢

日本銀行金沢支店長講演会

最近の金融経済情勢について

日本銀行金沢支店
支店長

よし
はま
吉濱

ひさ
よし
久悦

氏が語る



令和5年2月に日本銀行金沢支店が発表した「北陸の金融経済月報」によれば、北陸の景気は持ち直している。最終需要をみると、個人消費は持ち直している。住宅投資は減少している。設備投資は増加している。公共投資は弱めの動きとなっています。

本講演会では、日本銀行金沢支店の吉濱久悦支店長を講師にお招きし、「最近の金融経済情勢」についてお話しいただきます。

現在の情勢を把握し、今後の企業活動に反映させて行く絶好の機会です。

多数のご聴講をお待ちしております。

● 日時 令和5年3月28日(火)

午後4時30分～午後5時30分

● 場所 七尾商工会議所2Fホール

● テーマ 最近の金融経済情勢について

● 講師 日本銀行金沢支店 支店長 吉濱 久悦 氏

● 聴講料 無料

● お申込み締切 3月15日(水)

Webでのお申込み

【お申込み・お問合せ先】

七尾商工会議所 七尾市三島町70-1

TEL 0767-54-8888



切らずにFAXして下さい。

七尾商工会議所総務課宛 FAX 0767-54-8811

日本銀行金沢支店長講演会 聴講申込書

事業所名		TEL	
所在地		FAX	
氏名	役職	備考	

※本申込書にご記入いただきました個人情報につきましては、本講演会のみを使用いたします。